

祐徳稲荷神社 案内図

日本三大稲荷 祐徳稲荷神社と 門前商店街のご案内

日本三大稲荷 祐徳稲荷神社

創建は1687年（貞享4年）、肥前鹿島藩主鍋島直朝公の夫人花山院萬子媛がお輿入れの際、朝廷の勅願所であった稲荷大神の御分霊を勧請されたことに由来します。以来、商売繁昌、家運繁栄や縁結びのご利益で知られ、多くの参拝客が訪れる日本屈指のパワースポットの一つになっています。

日本庭園

牡丹、朝顔、花菖蒲、紫陽花等、一年を通じて色々な花が咲き、秋には紅葉で色づきます。四季を感じながらゆっくりと散策できます。



御神楽殿

御本殿

命婦社

石壁社

水鏡

岩本社

休憩所

エレベーター

岩崎社

楼門

なで馬

手水舎

参集殿

門前商店街
各店舗の紹介は
内面をご覧ください

休憩所

受付

錦波川（浜川）

神橋

社号標

祐徳博物館

祐徳稲荷神社所蔵の御宝物、鹿島鍋島藩歴代の藩主が用いた鎧兜、美術刀剣、陶磁器、絵画、鹿島錦など、貴重な品々が展示されています。
【開館時間】 9:00～16:30（年中無休）
【観覧料】 大人300円、大学生・高校生200円、中学生・小学生100円 団体割引有

錦波園

外苑 東山つつじ苑



御本殿

117 段の階段を上った舞台造りの上に建てられた神社の中心の建物。御本殿までの高さは 18m あり、京都清水の舞台より高いことは意外と知られていません。壁画や天井絵に彩られた御本殿の中へ入っての参拝もできます。(有料)



岩崎社 (いわさきしゃ)

御本殿の真下にある小さなお社。恋愛だけでなく、仕事・商売の縁を結んでくれる神様で、ハート形の絵馬が多数掛けられています。



鳥居の額縁には沢山のハートマークが刻まれています。これは「猪の目」といい、火事に敏感な猪の目を模した火災防止の御守りです。



楼門・太鼓橋・御本殿

境内は、楼門や神楽殿、本殿などで構成され、豪華で鮮やかな外観から「鎮西日光(九州の日光東照宮)」と称されています。雄大なご社殿を背景に楼門と太鼓橋を望むこの場所は、絶好の撮影スポットになっています。



手水舎 (てみずしゃ)

参拝する前に手を洗い口をすすいで心身を清める場所です。手水舎の水を使って身を清めることを「手水を取る」といいます。手水舎の柱は、全て 3 度内向きに傾いており、昔ながらの耐震構造となっています。



石壁社 (せきへきしゃ)

祐徳稲荷神社を創建された、鹿島藩主鍋島直朝夫人萬子媛をおまつりしています。1705 年、萬子媛は石壁山の寿蔵にて断食、読経の中でその 80 歳の生涯を全うされました。その後、萬子媛のおくり名にちなんで「祐徳院」と呼ばれるようになりました。



命婦社 (みょうぶしゃ)

江戸時代から昭和 8 年まで御本殿だった社殿で、彫刻が素晴らしく江戸時代の神社建築の特徴を残しています。佐賀県の重要文化財に指定されています。

祐徳稲荷神社と門前商店街のイベント情報

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 月 歳旦祭 (1 日) | 6 月 お田植祭 (中旬) |
| 2 月 節分祭 (3 日) | 8 月 夏祭 (1 日) |
| 初午祭 (2 月初午の日) | 9 月 石壁社秋祭 (10 日) |
| 祐徳ロードレース | 伝承芸能フェスティバル (第 2 日曜) |
| 3 月 例大祭 (3 月初午の日) | 10 月 抜穂祭 (9 月下旬～10 月上旬) |
| 祐徳門前春まつり (3 月最終土日) | 再建記念祭 (第 1 日曜) |
| 4 月 春季大祭 (8 日) | 11 月 七五三祭 (15 日) |
| つつじ祭り・祐徳植木市 | 菊花展 |
| (4 月下旬～5 月上旬) | 12 月 秋季大祭 [お火たき] (8 日) |
| 5 月 石壁社春祭 (10 日) | 鹿島市特産品まつり (8 日前後) |
| ホタル観賞 | 年越大祓 (31 日) |